

令和2年度版
尾鷲市まち・ひと・しごと創生総合戦略
検証シート

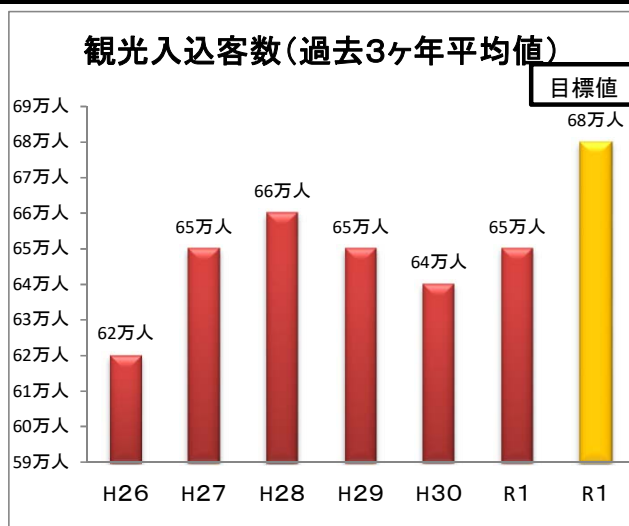
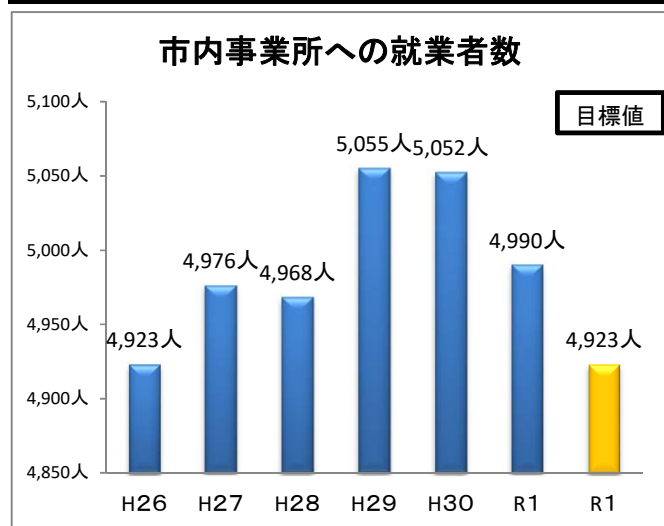
令和2年10月
尾鷲市

基本目標 1 安定した雇用を創出する

施策概要・目的

本市における安定した雇用を創出するためには、地域産業において後継者育成やブランド化に取り組むなど、農林水産物を安定供給できる体制を構築する必要があります。また、尾鷲の魅力である「食」「特産品」「熊野古道」など、地域の魅力を市内外に情報発信するとともに、地域の特性を生かした事業・企業誘致や起業支援を行い、新たな経済活動を通じて、雇用の創出を目指します。

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
市内事業所への就業者数	4,923人	4,976人	4,968人	5,055人	5,052人	4,990人	4,923人
観光入込客数 (過去3ヶ年平均値)	62万人	65万人	66万人	65万人	64万人	65万人	68万人



KPIの達成状況 H30実績値／R1目標値		取組項目(小)の今後の方針について		
①100%	14	52%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	0
②100%未満 75%以上	6	22%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	3
③75%未満 50%以上	4	15%	③特に見直しをせず事業を継続する	7
④50%未満	3	11%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	27	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

地方創生会議からの意見等

尾鷲マハタのブランドは定着してきており、基本目標の達成にも寄与していると考えられるが、コロナ禍のなかでは、市内への普及と流通も重要な課題であり、価格や戦略の観点から難しい部分ではあるが、地元に出回ること地元の人が食べて美味しいということが、今後のPRIにも繋がることから、今後検討していただきたい。

また、ヒロメの養殖に関しては、温暖化も見据えて改善を続け、林業に関しては、尾鷲の木材を使った住宅の件数が伸びていないことから、将来的に住宅においての木材利用の可能性を引き続き模索し、今後も取組んでほしい。

ヤーヤ便の件数、海洋深層水の使用料、夢古道の入込客数については、目標に達しておらず、減少傾向が見られる。この3つは尾鷲の外部からの生命線であり、一番目立つところなのに数字が伸びていない。これらの指標が100%を達成すれば、基本目標に大きく寄与できると考えられることから、この3つについては、特に頑張ってもらいたい。

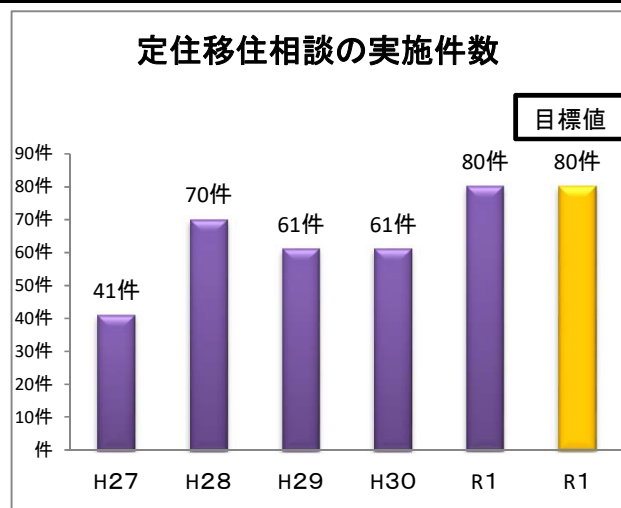
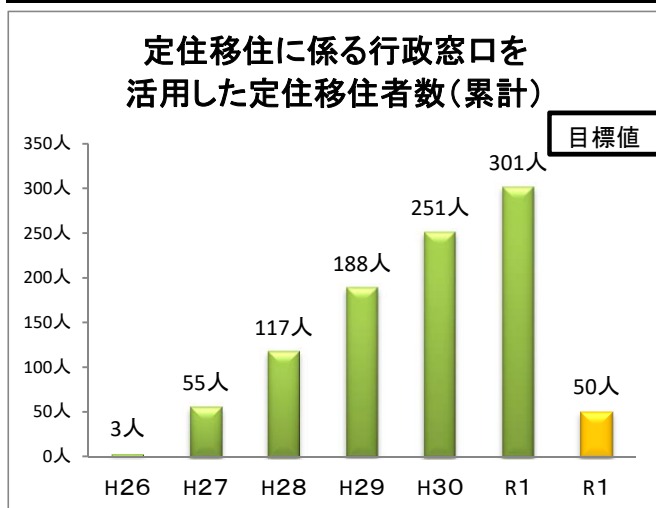
基本目標 2 新しいひとの流れをつくる

施策概要・目的

豊かな自然、歴史ある文化、温かい人情。そんな暮らしを求めて地域への定住移住を目指す人の流れを本市に作り出すために、各地域に存在する空き家を活用した、多彩な施策を講じていくとともに、地域団体はもとより関係企業などとも連携してスムーズな受け入れが可能となる仕組みづくりを行います。

また、先進事例を調査研究し本市独自の定住移住施策を作り込むとともに、おわせ暮らしを地域情報として発信し、定住移住につなげるとともに、他地域から本市を応援してくれる、ファンづくりを推進していきます。

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
定住移住に係る行政窓口を活用した定住移住者数(累計)	3人	55人 (単年52人)	117人 (単年62人)	188人 (単年71人)	251人 (単年63人)	301人 (単年50人)	50人 (5ヶ年累計)
定住移住相談の実施件数	-	39件	41件	70件	61件	80件	80件



KPIの達成状況 H30実績値/R1目標値		取組項目(小)の今後の方針について	
①100%	7	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	4
②100%未満 75%以上	1	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	0
③75%未満 50%以上	1	③特に見直しをせず事業を継続する	0
④50%未満	2	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	11	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

地方創生会議からの意見等

地方移住の流れの中で、仕事をどうするかということは大きな課題であり、ワーケーションやリモートワークなどの環境整備、仕事体験などの工夫、農地の規制緩和など上手く使いながら、コミュニティなど生活面でもサポートすることでより効果的に、今後も継続して取組んでほしい。

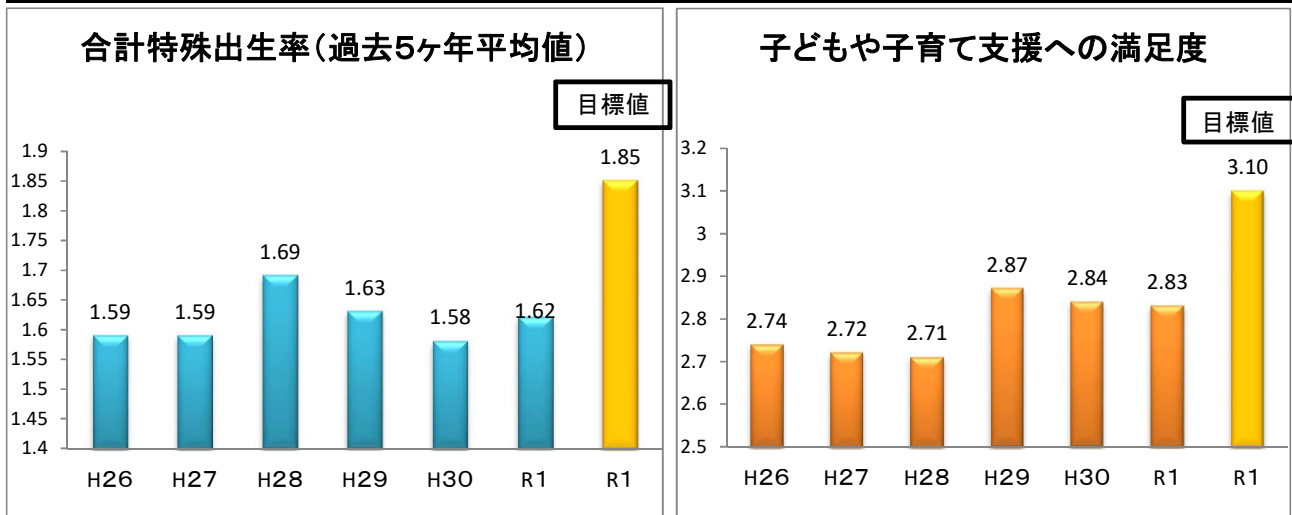
空き家バンクは、件数では目標を達成しているものの、今後は空き家自体のサービスの質や移住後の生活の質を重視しながら今後も取り組んでほしい。

更には、少し観点を換え、高速道路により中勢地区まで1時間から1時間半圏内となったことから、観光などと上手く絡ませ、尾鷲へ住み、他の地域へ通勤してもらえるような多様なライフスタイルを構築する仕組みも併せて検討していただきたい。

基本目標3 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

<p>施策概要・目的</p>	<p>結婚、妊娠、出産、その後の子育て支援や教育に至るまで、きめ細かな支援体制を関係機関と連携しながら整備し、女性に選ばれる地域づくりや環境整備に努めます。さらに、自然のなかでの子育てや、地域の見守り、地域コミュニティでの子育てなど、都会にはない尾鷲の子育ての魅力があることから、本市の魅力を生かし、子育てしたい、子育てしやすいまちづくりを推進します。</p>
----------------	--

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
合計特殊出生率 (過去5ヶ年平均値)	1.59 (H20~24年)	1.59 (H21~25年)	1.69 (H22~26年)	1.63 (H23~27年)	1.58 (H24~28年)	1.62 (H25~29年)	1.85
子どもや子育て支援への 満足度	2.74	2.72	2.71	2.87	2.84	2.83	3.10



KPIの達成状況 H30実績値/R1目標値		取組項目(小)の今後の方針について		
①100%	11	73%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	0
②100%未満 75%以上	3	20%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	2
③75%未満 50%以上	0	0%	③特に見直しをせず事業を継続する	5
④50%未満	1	7%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	15	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

地方創生会議からの意見等

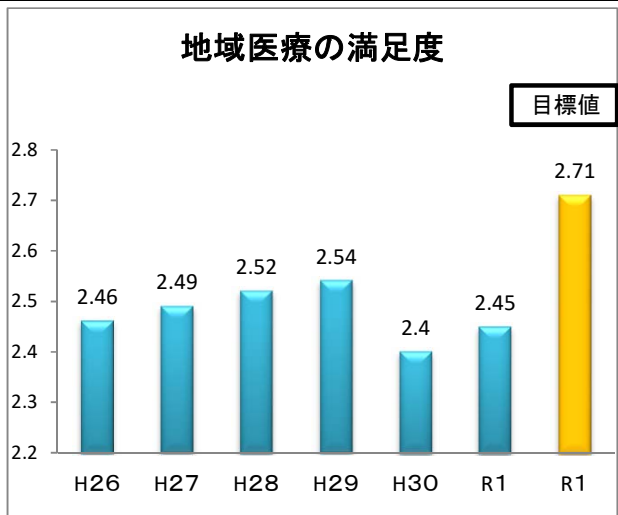
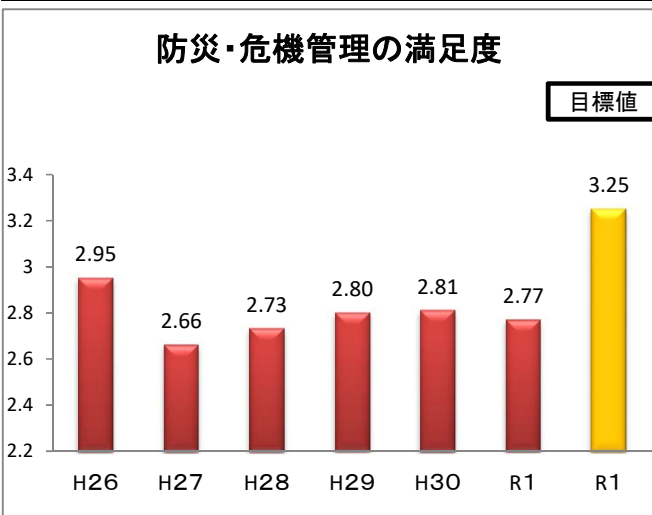
保育士一人当たりの障がい児数やちびっこ広場の登録親子組数など、実態と目標が乖離している部分や、KPIとして妥当かどうかなど、基本目標に対しての、個々の設定やKPIの内容の一部に疑問な部分がある。また、共働きで稼がなければいけない時代にあって、それを支援してあげられるような事をKPIとすることが、この目標の達成に繋がると考えられることから、次期総合戦略では、項目や内容を見直し、男性目線から女性目線で目標を立て、この地域で子供を産んで育てたいと思えるような取り組みに期待する。

また、地域性を考えたうえで、未婚の男性や女性を後押しできるような取り組みも今後検討してもらいたい。

基本目標 4 時代に合った地域をつくり、安心なくらしを
守るとともに、地域と地域を連携する

<p>施策概要・目的</p> <p>「しごと」と「ひと」の好循環作りを進め、人口減少対策に立ち向かうためには、好循環を支えるまちの活性化が重要となります。</p> <p>このため、本戦略で取り組む「しごと」と「ひと」の好循環作りと合わせて、これらの取り組みを効果的に推進するための下支えとして、地域特性を生かした地域の魅力向上、防災力の向上などによる安心して暮らせる地域づくり、地域と地域を連携する仕組みづくりを行い、安全安心なまちづくりを進めます。</p> <p>さらに、過疎・高齢化が進むなか、住み慣れた土地で暮らし続けることができるよう、市民とともに検討・構築していきます。</p>
--

指標名	現状値 (H26)	実績値 (H27)	実績値 (H28)	実績値 (H29)	実績値 (H30)	実績値 (R1)	目標値 (R1)
防災・危機管理の満足度	2.95	2.66	2.73	2.80	2.81	2.77	3.25
地域医療の満足度	2.46	2.49	2.52	2.54	2.4	2.45	2.71



KPIの達成状況 H30実績値／R1目標値		取組項目(小)の今後の方針について		
①100%	5	38%	①事業が効果的であったことから取組の追加等更に発展させる	0
②100%未満 75%以上	5	38%	②事業内容の見直し(改善)を行う(または、行った)	1
③75%未満 50%以上	1	8%	③特に見直しをせず事業を継続する	5
④50%未満	2	15%	④継続的な事業実施を予定していたが中止する	0
合計	13	100%	⑤当初の予定通り事業を終了する	0

地方創生会議からの意見等

地域医療の満足度に関しては、24時間365日の救急体制の維持は非常に評価できるが、その他単に地域医療という課題点や財政、経営面の課題などではなく、病院内部の体制について、例えば接遇のための職員研修や、職員の労働環境の見直しなど、内面の改善がこの目標の達成に繋がると思うので、ぜひ取り組んでもらいたい。また、健康づくりというところでは、健康に年を取っていくための項目も今後検討してもらいたい。

防災の満足度については、目標には達成していないものの、本当に積極的に取り組んでくれていると評価している。今後も継続して広報や周知に力を入れ取り組んでほしい。

市内の連携ということで公共交通の満足度が挙げられているが、高齢化率の高い地区は、やはり公共交通に頼らざるをえないので、行政効率や財政面の課題も理解できるが、その点考慮して取組んでほしい。